

**第2回 新庄新高校（仮称）・新庄神室産業高校 教育基本計画策定委員会
記録（概要）**

1 日時 令和3年9月3日（金）14：30～16：20

2 会場 （メイン会場）県庁 1002 会議室
（リモート会場）4 会場

3 参加者 委員長（座長）、委員 10 名、事務局 5 名

4 内容

- 1 県教育委員会あいさつ
- 2 報告
 - (1) 第1回教育基本計画策定委員会の概要について
 - (2) 定時制について
- 3 協議
 - (1) 新庄新高校（仮称）について
 - ① 教育基本計画の構成（案）
 - ② 基本理念の検討方針（案）
 - ③ 基本理念の骨格（案）及び育てる生徒像の方向性（案）
 - ④ 【全日制】【定時制】育てる生徒像（案）
 - ⑤ 【全日制】目指す学校像の方向性（案）
 - ⑥ 【全日制】目指す学校像（案）
 - ⑦ 【定時制】教育課程編成の基本方針（案）
 - (2) 新庄神室産業高校について
 - ① 教育基本計画の構成（案）
 - ② 基本理念の検討方針（案）
 - ③ 基本理念の骨格及び育てる生徒像の方向性（案）
及び目指す学校像の方向性（案）
 - ④ 育てる生徒像（案）
 - ⑤ 目指す学校像（案）
 - (3) その他
- 4 連絡
 - (1) 次回の開催について
 - (2) その他

5 発言要旨

2 報告 事務局長より説明

- (1) 第1回教育基本計画策定委員会の概要について
質問等なし。
- (2) 定時制について
質問等なし。

3 協議 (1) 新庄新高校作業部会長 (2) 新庄神室産業高校作業部会長 より提案

- (1) 新庄新高校（仮称）について
 - ① 教育基本計画の構成（案）及び ② 基本理念の検討方針（案）
質問意見等なし。原案の通り承認された。
 - ③ 基本理念の骨格（案）及び育てる生徒像の方向性（案）

(委員)

「学際的な学び」とした理由を詳しく教えていただきたい。また、基本理念の骨格に「人間性の伸長」とあるが、人間力ではなく、人間性という言葉を用いた理由を教えていただきたい。

(部会長)

「学際的」は、自分の興味ある一つの学問領域などに特化せず、関連するいくつかの分野をまたがって学問研究をすることにより、新しい発見や新しい価値の創造を目指す意味合いで用いた。新庄新高校の作業部会で新庄北高校と新庄南高校の共通する学びを考えていく中で、「学際的」という言葉がふさわしいと考えた。

「人間性の伸長」については、新庄北高校の教育目標に「人間性を豊かにする」という文言があり、新庄南高校にも「誠実」「意欲的な人間」「積極性」「創造性」という人間性を示す文言がある。「人間性」は両校で大事にしてきた言葉であり、古い時代に分かれた学校が改めて統合すると考えたときに、「人間性」を一つの信条として捉え、取入れた。

(委員)

「学際的な学び」については、普通高校ではなく、総合高校における学びをイメージしており、「人間力」については、「力」という言葉が入ることで、今後生きる上で必要な資質・能力を表すと考えたところである。

(委員)

現在、急激な社会の変化の中で、これからの学校の在り方を考えるにあたり、議論になっている言葉が「創造性」「探究」「協働」の三つであり、「学際的」という言葉は、教育課程の編成などの具体的な議論の中で出てくる。

「学際的な学び」という表現については、教科横断的な学びに重点を置くと「学際的な」となり、新しい価値の創造に重点を置くと「創造的」になる。「学際的」「創造的」という表現が対象とする領域は同じなので、どのような視点に重点を置くかが論点になる。

「人間性」という言葉は、新学習指導要領の育成すべき資質・能力の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の中に、使われている。このベースとなるものは、「マインドセット」という考え方であり、日本語では、「心の在り方」という意味になる。マインドセットには、多少欠点があっても、努力すれば自分の能力を更新できるという考え方の「成長的マインドセット」と、能力はもともと決められたもので努力しても変わらないという考え方の「固定的マインドセット」の二つの考え方がある。新学習指導要領では、前者の資質・能力を育てたいと考えており、「人間性の伸長」「自己肯定感」「自己有用感」「貢献」等の言葉に思いが込められている。自分に限界を作らずよりよい自分を目指すという生徒の思いを伸長させることが大事である。

(委員長)

ご指摘いただいた教育のキーワードである「創造性」「探究」「協働」を参考にさせていただきたい。

方向性については賛同されたが、委員から出た意見を踏まえて、次回の策定委員会で検討結果を提案願いたい。

④【全日制】【定時制】育てる生徒像（案）

(委員)

整っており、なるほどと思い読んだ。社会の変化を踏まえると、文章の打ち出し方として、学際的な学びの②（ア）と（イ）の順番が逆になると思うが、文章の構成について説明いただきたい。

(部会長)

文章の打ち出し方は、社会の変化を踏まえたものではなく、②の文章は前段と後段に分かれており、前段に（ア）、後段に（イ）が対応する構成になっている。

(委員)

定時制の育てる生徒像の中の①「社会に参画する」と③「自ら社会と関わる」という表現は、ニュアンスは違うが、似たような言葉となっている。

(部会長)

今後の作業部会、班会で再度検討していく。

⑤【全日制】目指す学校像の方向性（案）及び ⑥【全日制】目指す学校像（案）

(委員)

2つお聞きするが、

1つ目は、入学する生徒の新高校への期待をどう捉え、盛り込んだのか。

2つ目は、学際的な学びの②（イ）に、「芸術的な感性」という文言を取入れたことで、どのような教育活動を想定しているのか。

(部会長)

「育てる生徒像」「目指す学校」の議論の中では、生徒にどういう教育を提供できるかという視点をもって議論しており、手段を表す「目指す学校像」をどのような形で教育を生徒が受けるのかと読み替え、1つ目の質問に対する答えとさせていただきたい。

二つ目の質問に関して、現状の新庄南高校の教育活動の中で、教科芸術を用いた芸術教育が非常に丁寧に、長い期間実施され、教育活動の有効性、有用性を実感し、高く評価している。新庄北高校に新庄南高校が吸収されると勘違いされないためにも、新庄南高校の素晴らしい芸術教育を、新庄新高校でも継続したいと考えた。

(委員)

今の考えを後押ししたい。「創造性」を考えるときに二つの要素が議論になっている。一つ目は「芸術的思考」という部分である。アートやデザインは今からの社会に絶対必要になってくるものであり、今までの実践を踏まえて芸術教育を強調していくことは、子どもたちに創造性を身に付けさせるためには大事な要素である。二つ目は、「批判的思考」つまり、クリティカルであるということである。日本語で「批判的」は、ネガティブな意味で捉えることが多いが、「重要な」「大切な」というポジティブな意味があり、周りから何を言われても鵜呑みにしないで自分で考え判断していくことがクリティカルな大事な部分であり、創造性を支える一つになる。

⑦【定時制】教育課程編成の基本方針（案）

質問意見等なし。原案の通り承認された。

(委員長)

昼間定時制になることで、時間的な余裕が生まれ、他校の例を見ると、早い時間における「学び直し」の実施や放課後を利用した「三修制」の仕組み作りも可能になる。さらに、地域と連携した探究学習も進めやすくなる。

(2) 新庄神室産業高校について

① 教育基本計画の構成（案）及び ② 基本理念の検討方針（案）

質問意見等なし。原案の通り承認された。

③ 基本理念の骨格及び育てる生徒像の方向性（案）及び目指す学校像の方向性（案）並びに ④ 育てる生徒像（案）及び ⑤ 目指す学校像（案）

(委員)

商業科が設置されても、育てる生徒像には変化がないと思うが、目指す学校像や教育活動の何が変わるのか、変わらないのかについて聞きたい。

(部会長)

農業、工業、商業を含めた、産業界が新しい仕組みになってきている。例えば、創造といえば、これまではモノづくりという技術的なものを極めるニュアンスが強かった。しかし、これからはグローバルな視点を持ち、他分野とのかかわりを深め知見を広げ、未来を見据えて地域のために関わることで、様々な場面で活躍できる技術を作り出していくことを意味する。商業科設置は、ブレイクスルーの新たな材料として、今後求められる新しい目的に向かうためのきっかけになることを期待している。具体的には、商業科設置によって、経済の側面から考え、地域産業の基盤である農業の問題解決に向かうことや、多角的な視点から工業と農業を捉えなおすことができる。同時に、商業科も農業、工業と連携することで、現実社会での発展性を作っていける。

(委員)

商業科設置により、6次産業化の視点をもった学びなど、産業高校の新たな魅力に期待したい。

目指す学校像の③(ア)にある「生徒の可能性を引き出す」という表現もわかるが、自分の可能性を最大限伸ばす、活かしていくという形の学びが必要と考えるので、今後検討する中で話題にしてほしい。

(委員長)

出された意見を参考にし、作業部会、班会でも検討してほしい。

(委員)

商業科が加わることで、「創造」という部分がバージョンアップできると思う。何を創造するのかという問いに対して、どのように示されているかが大事になる。その点で、育てる生徒像の「創造」の中に、「幸福な社会の創造に向けて」という文言があり、モノづくりは今後も大事になるが、個別に役に立つというよりも今我々が生きている社会をより幸福なものにするために、農業・工業・商業それぞれの視点から多角的に貢献できるものを考え、つなげることで可能性を広げ、幸福な社会を最上地区に作っていくことを示されている。産業高校では、これまでも伝統的に様々なプロジェクト的な取組みを行っている。今、普通高校で一生懸命取り組んでいる探究活動は、産業高校では当たり前で通常的なものであることを強みにして、幸福な社会の創造に向けて進むことが大事な部分である。

(部会長)

目指す学校像の方向性の「志高」の部分にある「将来への目的意識」という表現は、生徒がどのくらいの可能性をもっているか誰しもわからないが、志を高く持ち、将来の目的意識をもつことで、自分の可能性を発見していくという意味であり、自立や自己有用感にも結び付くと考えている。

(委員)

資料の仕上げと、各作業部会、班会でのご苦勞に感謝する。二つ申し上げたい。一つ目は、新庄神室産業高校の基本理念の骨格である「志高」「創造」「自立」は、現在の校訓のままになっている。非常にエモーショナルな話だが、新庄南の商業科

が募集停止になり、商業科が新設されることから、基本理念の骨格に新庄南高校の校訓「清楚」「誠実」「進取」の一つでも盛り込むことを検討してほしい。二つ目は、大学がない最上地区にとって、高校は知の最先端である。頼れるアカデミックな学校、知のサポートをしてくれるような職員や教員を求めていきたい。

(3) その他

(事務局長)

新庄新高校（仮称）の学科・コースについては、令和3年3月に策定した「最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）」の中で、『学科は、普通科を基本とするが、探究コースの在り方などについて検討する』『令和3年度に、教育目標や内容等に関する教育基本計画策定委員会を設置し、学科・コース、教育目標、教育課程の特色、校舎整備等について検討する』『進学指導體制の強化を図り、学力向上を実現する』『多様な学習ニーズに応えるため、コースや特色ある選択科目を開設し、進学から就職まで幅広い進路希望を実現する』『地域社会と連携した活動を展開し、地域課題等に係る探究型学習を行い、将来地域を牽引する力を持つ人材を育成する』とある。以上のことから、新庄新高校（仮称）の学科・コースのあり方について、今後、班会、作業部会で検討していただき、策定委員会で御意見をいただきたいと考えている。

(委員)

普通科の中で多様な選択科目などを設けて、入学時から幅広い進路希望に対応できるコースが必要である。現在の新庄南高校普通科では、進路が多様であり、四年制大学が3～4割、短期大学が2割、看護医療専門学校が2割弱、就職が1割前後になっている。両校が実践してきた特色ある教育活動を継続するためにも、普通科の中に、多様な学びができるコースを設置してはどうかと考える。

(委員)

新庄北高校の立場で言えば、進学指導の充実を求める地域の声が大きいと感じている。新庄新高校でも、より高いレベルでの主体的・協働的探究型学習ができるとともに、結果として医学部医学科や難関大学などへの進路希望を達成できる環境が必要である。現在の新庄北高校普通科探究コースより一歩進んだ探究科のような学科設置が必要である。もし、探究科設置となれば、東学区に山形東高校、西学区に酒田東高校、南学区に米沢興譲館高校、そして、北学区に新庄新高校となり、県における地域差も解消される。また、探究コースには、文系・理系の生徒が混在するため、進学指導が難しく、担任の負担が課題となっており、学校の大きな課題解消のためにも探究学科という形で進めていくことが必要である。探究学科以外の普通科では、現在の新庄北高校一般コースと新庄南高校普通科が合わさる形となり、多種多様な進路の生徒ニーズに応えることができるコースを求めていくというのが地域の願いでもある。

(委員長)

地域の声や、本委員会における意見を踏まえながら、新たな学科・コースの形を検討していく。